

図書館かがわ

香川県立図書館報 第125号

Library Kagawa



発行日 2019.10.1

ISSN 1344-5464



地球にやさしく暮らし隊



いのちの森を守り隊



かがわの里海守り隊



「2019香川県夏休み親子環境学習講座」を開催しました。

7月31日(水)、8月1日(木)に「香川県夏休み親子環境学習講座」を開催し、2日間で事前募集した285名の小学生親子の参加がありました。この講座は、体験活動を通じて、楽しみながらわかりやすく環境について学ぶことができるもので、香川県環境森林部環境政策課と共催で行いました。

参加したみなさんは、「森・海・まち」の3つのテーマで、緑を取り入れた地球にやさしい暮らし方、香川の里海について、地域の鎮守の森の役割と人と自然の関わりについて学びました。

講座には、実験や工作などもあり、みなさん熱心に取り組んでいました。夏休みの宿題や自由研究を通じて、親子で環境について考える機会になったと思います。また、県立図書館にも親しむきっかけとなってくれればと思います。

“集まれ高校生！読み聞かせボランティアにチャレンジ！！”

県立図書館で、読み聞かせ講座を受講した高校生20名が、絵本の読み聞かせを行いました。

8月8日の読み聞かせ講座で、高校生たちは、はじめに読み聞かせの基本を学んだ後、読み聞かせボランティアによるおはなし会の実演を見ました。その後、各自で読みたい絵本を選び、県立図書館の司書からアドバイスを受けながら、読み聞かせの練習をしました。

8月9日には、合計4回のおはなし会を開催しました。子どもたちは、どのおはなし会も楽しんでくれているようでした。

高校生からは、「将来保育士になりたいと思っているので役に立つと思う」「小さい頃、読み聞かせをしてくれていた人はこんな感じだったんだなと思った」「小さい子が真剣に聞いてくれて、とてもうれしかった」などの感想がありました。

この経験を進路や職業の選択に活かしてもらえれば、うれしいです。



レファレンス日誌から 第5回

～「児童書は全年齢向け？」の巻～



「すみません、この漢字はなんと読むのかなあ？」指さす先には、「花麩の赤だし」と書かれていました。どうやら、献立表に書かれていた文字のようです。「『赤だし』は分かるんだけど、『花麩』がなあ。読み方もそうだけど、どんなものなんだろう。」

まずは「麩」について漢和辞典で調べると、「フ」と読むこと、簡略化すると「麩」と書くということが分かりました。しかし、「花麩」の読み方はわかりませんでした。

そこで、タイトルに「麩」がつく本を探してみると、10冊ほどあるようです。そのなかに、児童書の『すがたをかえるたべものしゃんえほん 15 お麩ができるまで』がありました。タイトルがほとんどひらがな！これは読み仮名が書いてあるはずです。しかも、すがた、という文字があります。きっとページのどこかに「花麩」の姿があるに違いないと思いました。

2人で本をめくっていくと、「花麩」の上に「はなふ」とふりがながありました。そして、淡い色のふっくらとした姿が写真で紹介されていました。

「へえ、はなふ、かあ。こんな形なんだね。」とおっしゃる姿を見て、私もすっきりとした気持ちになりました。

大人の調べものであっても、児童書を活用することで、速く簡潔な答えを得ることができると感じた経験でした。

〈参考資料〉

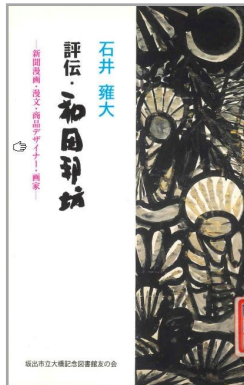
『すがたをかえるたべものしゃんえほん 15 お麩ができるまで』

宮崎 祥子／構成・文、白松 清之／写真 岩崎書店／刊 2017年（580 M2 1-15）

この本オススメです！

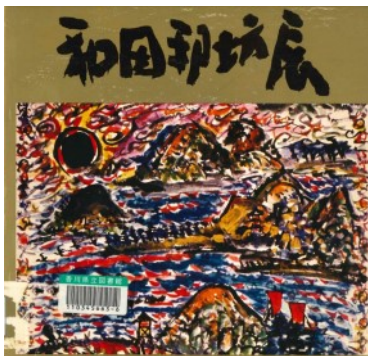
わだくにほう
～ 和田邦坊 ～

和田邦坊は明治32（1899）年、琴平町に生まれ、今年が生誕120年にあたります。
 和田邦坊は、時事漫画家、小説家、商業デザイナー、画家など様々な分野でマルチに活躍しました。
 代表的な作品としては、香川県民には馴染み深い「灸まん」「名物かまど」などのパッケージデザインが挙げられます。
 意外なところでは、料理屋で百円札を燃やす「成金栄華時代」という有名な風刺画があります。これも彼の作品です。歴史の教科書等でご覧になった方も多いのではないでしょうか。
 今回は和田邦坊についての資料を紹介します。



『評伝・和田邦坊 新聞漫画・漫文・商品デザイナー・画家』
 石井雅大／著（坂出市立大橋記念図書館友の会）2004.11
 （請求記号：K7210/W1/3）

和田邦坊に関する断片的な資料と邦坊を知る人々からの聞き取りを中心にまとめられた初の評伝です。巻頭にはカラーで代表的な作品が紹介され、巻末には略年譜、参考文献、邦坊の著作が掲載されています。



『和田邦坊展』
 香川県文化会館／編集・発行 1972.10
 （請求記号：K7210/W1）

昭和47年10月に香川県文化会館で開催された個展の図録です。水墨画、彩色画一五五点が掲載されています。この図録では親交のあった棟方志功とイサム・ノグチが邦坊に寄せた賛辞が掲載されています。なお「評伝・和田邦坊」には次のように書かれています。「邦坊の個展は、後にも先にもこの展覧会一回だけであった。個展開催を好まなかった故と伝えられている。」



『和田邦坊デザイン探訪記』
 西谷美紀／著（和田邦坊リサーチプロジェクト）2017.3
 （請求記号：K7210/W1/4）

マルチクリエイター和田邦坊について論考し、これまで語られてきた邦坊の略歴を概観するという内容の研究書ですが、豊富なカラー図版が掲載されており、見ても楽しい一冊です。

●平成30年度 香川県立図書館の図書館評価を実施しました●

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施しました。

評価指標の数値目標の達成状況は、12項目のうち、評価A（数値目標の達成率100%）が6項目、評価B（数値目標の達成率80%以上100%未満）が6項目となりました。

詳細は、県立図書館ホームページに掲載しています。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数(冊)	1,041,000冊	1,044,763冊	100.4%	A
	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	2,312冊	100.5%	A
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	491,500人	459,102人	93.4%	B
	④ 新規登録者数	4,200人	4,033人	96.0%	B
	⑤ 個人貸出冊数	939,000冊	897,552冊	95.6%	B
	⑥ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,200件	1,215件	101.3%	A
	⑦ 協力貸出冊数	7,250冊	6,451冊	89.0%	B
	⑧ 児童団体貸出・学校支援 文庫貸出冊数	7,900冊 団体3,100冊 学校4,800冊	7,824冊 団体2,584冊 学校5,240冊	99.0%	B
3. 読書普及活動の充実	⑨ 来館者満足度	90%以上	88%	97.8%	B
	⑩ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	430,000件	476,003件	110.7%	A
4. 文化活動の推進	⑪ 展示等の実施回数	60回	78回	130.0%	A
	⑫ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上	20回	100.0%	A

評価A: 数値目標を達成した(達成率100%以上)

評価B: 数値目標を概ね達成した(達成率80%以上100%未満)

評価C: 数値目標を下回った(達成率80%未満)

●トイレの改修工事のお知らせ●

県立図書館では、館内トイレの便器を和式から洋式へ変更するため、改修工事を実施しています。現在、2階トイレの工事を行っており、終了次第、1階トイレの工事に移ります。工事は来年3月末までの予定です。

工事期間中は、ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19 (香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>